



ぜんかい がくしゅう いそご く しんぶん  
前回の学習では、磯子区のことを新聞にしました。

きょう しんぶん か あと かんが  
今日は、新聞を書いた後のことについて考えていきましょう。

月  
日  
日直

月  
日  
日直



いそご し しら  
もっと磯子のことを知りたくなったから、調べたい。



すう じつ ご  
数 日 後

月  
日  
日直

いそご ひみつ  
磯子の秘密を  
し  
知りませんか。



ひみつ わ いそご ゆうめいじん し  
秘密か分からないけれど、磯子の有名人を知っているかな。

月  
日  
日直

だれですか。



いそご むら いえ う つつみいそ えもん かれ  
磯子村の家に生まれた堤磯右衛門。彼が、

せいてつじよ はたら とき て あぶら  
製鉄所で働いていた時、手についた油を

こめ  
米ぬかであらおうとしたら、

月  
日  
日直



おな こうじょう はたら ふらんす じん しかく  
同じ工場で働いていたフランス人が、四角い  
かたまりをかしてくれたいらしい。

月  
日  
日直



月

つか まほう よご  
それを使うと魔法のように、汚れがおちた。

とうじ せっけん こうきゅうひん やす せっけん つく  
当時、石鹼は高級品。「安い石鹼を作りたい」と

かんが いそ えもん せいてつじょ  
考えて、磯右衛門は、製鉄所をやめた。

直



月

くる日も、くる日も、<sup>ひ</sup>研究をし、<sup>ひ</sup>作るが<sup>けんきゆう</sup>失敗...。あきらめて、<sup>つく</sup>

<sup>しっぱい</sup>石鹼として固まらないドロドロ水を、<sup>せっけん</sup>捨てようと、<sup>かた</sup>清めの<sup>どろどろみず</sup>塩を

<sup>す</sup>ふりかけた。<sup>きよ</sup><sup>しお</sup>





月

ひとばんあ

ふしぎ

一晩明けると、不思議なことにかたまっていた。

直



月

て あら よご めいじ ねん とき  
それで手を洗うと、汚れがおちた。明治6年。40さいの時。

あと いそえ も ん  
その後、磯右衛門は、せっけんをたくさんつくった。

直

# ちょっと休憩

きゆうけい

よこはま かい こう

## 横浜開港」にゆつて、

にほん

さいしよ

はじ

おお

日本で「最初」に始まったことが多くあります。

ひつ

つう

ぎょう

その「ついに」、鉄道があります。

いま

さくらぎ ちようえき

むかし よこはま えき

今の桜木町駅は、昔、横浜駅として

つかわれていました。



きょう ふ かえ  
今日の振り返りをしよう。

①と②を大切にしながら

か  
書こう。

ひと  
できる人は、

ふ かえ  
振り返りを書き

か がっこうさいかい とき  
書いたら、学校再開の時、

しょくいんしつ も  
職員室に持ってきてください。

しゅくだい  
※宿題ではありません。

かだい たい  
①課題に対して  
わ  
分かったこと  
かんが  
考えたこと  
ぎもん おも  
疑問に思ったこと

がくしゅう とお  
②学習を通して  
できるようになったこと  
これからがんばりたいこと  
その他、何でも自由

月  
日  
日直



じかい            はなし き  
次回は、どんな話が聞けるかな。

月

日

日直

月 日  
日直

く  
い  
ず

いそごうクイズ

いそごく やま  
磯子区に山があるか、ないか。」

—  
ない

—  
ある

月 日  
日直

く  
い  
ず

いそごうクイズ

いそごく やま  
磯子区に山があるか、ないか。」

—  
ない

—  
ある